



迫 登茂子

1987年2月11日、初めて不思議な出来事を経験。
以来、ずっと神様の声が降りてくる体験が続いている。
不思議な体験をした日にちなんで、毎月「十一日会」を主宰し、ご自宅から愛と癒しを発信。
政界、スポーツ界、様々な業界の方々が『天命』や『生き方』について神様の声を降ろして
いただいております。船井総研の船井幸雄社長、元巨人軍の長島監督が先生を頼り
にされていたお話はあまりにも有名。
神のお使いとして、85歳になった現在も世界中を飛び回る。

岡山県生まれ。

東北大学で天文学京都大学大学院と名古屋大学大学院で理論物理学を学ぶ環境に身を置くも、生来の怠け癖のために真面目に研究することはなかった。運良くスイスのジュネーブ大学理論物理学科に職を得、不運にも3度ノーベル賞を横取りされた。

スイスの天才物理学者シュテュッケルベルク博士の影響を強く受けた。そのためニヒルな一匹狼的物理学者を目指し、無益な辛酸をなめる。

現在、ノートルダム清心女子大学大学院教授、理学博士。専門は数理物理学で、主に確率論の枠組で量子力学や場の量子論の基礎づけを行ってきた。変分学を確率過程に拡張した確率変分学を開拓し、その応用としてそれまで存在しないと考えられてきた量子力学における最小作用原理の存在を示したことで世界的に知られる。

そのほかにも、カトリックの修道士から受け継いだキリスト由来の活人術「冠光寺眞法」を応用した護身術「冠光寺流柔術」を創始し、東京、名古屋、神戸、大阪、岡山の道場で指導している。ライフワークはUFOと地球外知性体についての調査研究。座右の銘は「明日できることは今日するな」。



保江 邦夫

学び心 ～伊勢特別研修会



矢作 直樹

1956年神奈川県生まれ。

平成11年東京大学大学院新領域創成科学研究科教授、同工学部精密機械工学科教授兼担。

平成13年より東京大学大学院医学系研究科救急医学分野教授および同医学部附属病院救急部・集中治療部部長。平成28年3月31日、任期満了退任。

2011年『人は死なない』を上梓、死後世界の存在を主張して18万部となり、以後、出版活動をスタート。2014年に刊行した『おかげさまで生きる』は30万部を突破。

現代人が忘れかけた大和心をつたえる講演は、多くの人に感動を与えている。

1964年生まれ。

光寺眞法セラピスト。冠光寺流 輪の風接骨院 院長。物理学者 保江邦夫に師事。冠光寺眞法 東京本部道場所属。「超五感」を刺激するワークやセッションを提案。冠光寺眞法ではそれを次元転移と呼んでいる。ヒーリング実績は1万人におよび、多くの人々を幸せに導いている。

現在、生き方を学ぶ吉野流ワークショップや笑い一杯のおはなし会なども積極的に開催。



吉野 太



林 数馬

株式会社 おぼうさんどっとこむ 代表取締役

眼亀山最勝寺本堂にて師僧伯父 小出行圓師の下高木行照師を授戒師として得度受戒法名「行撰」(ぎょうしょう)を授かる。

1990年大正大学仏教学部仏教学科卒業、大正大学大学院文学研究科修士課程修了。

比叡山延暦寺行院にて四度加行満行、法華總持院灌頂堂にて入壇灌頂、戒壇院にて円頓受戒、講堂にて豊儀遂業、最勝寺法嗣少僧都。南照山久成院、當麻山泉蔵院での奉職を経て、株式会社おぼうさんどっとこむを創業。「心豊かな人があふれる社会を創る」を企業理念とし、葬儀・法要などに適正費用を打ち出した改革は、NEWYORKTIMES、ルビコンの決断など様々なメディアで取り上げられている。

| 12日(1日目) | |
|--|---|
| 12時 | 伊勢修養団 受付開始 |
| ※12時30分までには受付を済ませてください。 | |
| 13時 | 開講式 |
| 14時 | 外宮特別参拝 神域見学 |
| (特別参拝は皇太子殿下、総理大臣等がご参拝されます 場所まで入れていただきます必ず正装にてご参加ください) | |
| 16時 | 保江邦夫氏 講演 |
| 17時20分 | 矢作直樹氏 講演 |
| 18時30分 | 夕食 |
| 19時30分 | 水行予行 反省行 五十鈴川にて水行 |
| 21時30分 | 入浴 |
| 22時30分 | 懇親会 |
| 24時 | 消灯 |
| 13日(2日目) | |
| 6時 | 起床 洗面 |
| 6時30分 | 神宮特別早朝参 内宮御垣内にて (1日目と同じです。正装になります) |
| 8時 | 朝食 株式会社おぼうさんどっとこむ 代表取締役 林 数馬氏による食事作法 |
| 9時30分 | 迫登茂子氏 吉野太氏 コラボセミナー |
| 10時30分 | 「美しい日本の心」研修 講師 伊勢修養団 寺岡賢 |
| 12時 | 閉講式 |
| 12時30分 | 中締め解散 |
| <input type="checkbox"/> 希望者のみ | |
| 13時30分 伊勢神宮 御神楽奉納 | |
| <input type="checkbox"/> 伊勢神宮での御神楽奉納(13時30分) | |
| 希望者のみの参加です。 | |
| 希望者は、当日別途3000円をお支払いください。 | |
| 終了しますと、15時30分ごろの解散となります。 | |
| お帰りの電車などご注意ください。 | |

【主催】株式会社 Amour
【共催・会場】公益財団法人 修養団 伊勢青少年研修センター
〒516-0024 三重県伊勢市宇治今在家町 153 番地
TEL 0596-25-0265 FAX 0596-25-0309
e-mail: ise@syd.or.jp URL:http://www.syd.or.jp/ise/
【日時】平成28年11月12日(土)~11月13日(日) 一泊二日
【集合】12時~12時30分までには受付を済ませてください。
※修養団入り口にて
【会費】25,000円※会費には受講料、宿泊費、食事代など含まれます。
【定員】200名
【服装】1日目・2日目の神宮特別参拝の際は必ず
男性はスーツ、ネクタイ、革靴
女性はスーツ、礼装となります
(男女ともジャケット着用、ブーツ不可です。)

※特別参拝は特別な方が参拝される領域での参拝となりますので
服装規定厳守でお願いいたします

【持ち物】
筆記用具、洗面用具、タオル、着替え、靴下
トレーニングウェア等の運動に適した服装,保健証
※よろしければ、故郷の一品(お酒・珍味・果物・お菓子等)
皆さんで持ちよって懇親会で共に味わってみませんか?

【交通アクセス】
JR・伊勢市駅または近鉄・宇治山田駅/近鉄・五十鈴川駅で下車。
内宮(ないくう)行きバスに乗り終点伊勢神宮・内宮前下車。
○バス三重交通バス
伊勢市駅から(バス 20分余/タクシー 13分余)
宇治山田駅から(バス 23分余/タクシー 10分余)
五十鈴川駅から(バス 08分余/タクシー 5分余)

【お申込み】下記に必要事項をご記入の上、郵送又はFAX・メールにて主催 株式会社 Amour 宛に
お申し込み下さい。

※11月6日までに参加費のお振り込みをお願い致します。

※受付終了後、参加チケットなどの発送は特に行っておりません。上記を参考の上、当日ご来場下さい。

【お問合せ/連絡先】 佐藤綾 ●TEL 080-4359-4480 ●FAX 03-5879-6828
●e-mail amour.inc2014@gmail.com
●住所 132-0021 東京都江戸川区中央 4-2-13-609

【申し込み締切】平成28年10月31日(月)

【振込先】東京東信用金庫 鹿骨支店 店番 066

口座番号 3455921 口座名 株式会社 Amour 代表取締役 佐藤 綾

| 「日本から学ぶ」伊勢特別研修会 | |
|-----------------|--------|
| 氏名 | 生年月日 |
| 住所 〒 | |
| TEL | e-mail |

公益財団法人修養団(SYD)とは・・・

明治39年(1906年)東京府師範学校(現在の東京学芸大学)に学ぶ蓮沼門三を中心とする青年たちの手によって創立され平成18年(2006年)2月11日をもって100周年を迎えた社会教育団体です。平成23年3月22日には内閣総理大臣より「公益財団法人 修養団」として認定を受けました。

日本における社会教育団体の源流ともいわれる修養団(SYD)は、明治、大正、昭和、平成の四代にわたり社会教育一筋の道を歩み、激動の時代にも常に「愛と汗」の精神の実行実働による“明るい社会建設”を目指し、様々な困難を乗り越えてきました。今日、修養団では基本理念である「愛と汗」を信条とした「幸せの種まき運動」を全国的に展開し生涯学習社会のパイオニアとして青少年教育や社会教育の分野で様々な活動を行っております。